

令和7年度秋田県学習状況調査の結果報告



昨年12月4日(木)、1、2年生を対象として秋田県学習状況調査が実施されました。先日、学校ごとの結果が発表されましたので、この調査(学力調査及び質問紙調査の一部)の結果をお知らせします。なお、このことについては、2月17日(火)に開催される学年末PTAの全体会において、口頭で説明させていただく予定です。

□学力調査の結果(平均正答率) ※ホームページ上の資料では、この結果は掲載しません。
 令和6年度 大潟小6年 令和7年度 大潟中1年 県平均との差



令和6年度 大潟中1年 令和7年度 大潟中2年 県平均との差



1年生は、昨年度(小学校6年生時)、社会科以外の教科で県平均を下回り、特に理科、国語は差が大きかったのですが、国語、社会、理科で昨年度より向上が見られ、英語もわずかですが県平均を上回ることができました。数学は小6時よりも1ポイント差が大きくなってしまいました。数学を苦手とする生徒が他教科よりも多いことが、この結果につながっているようです。また、全体として「文字を用いた数量の関係」「文字を用いた式」「比例の利用」「一次方程式の利用」といった設問の正答率が県平均より10%以上低くなっており、文字を用いて考えたり、数学的な考え方を応用して考えたりする力を高める必要があります。

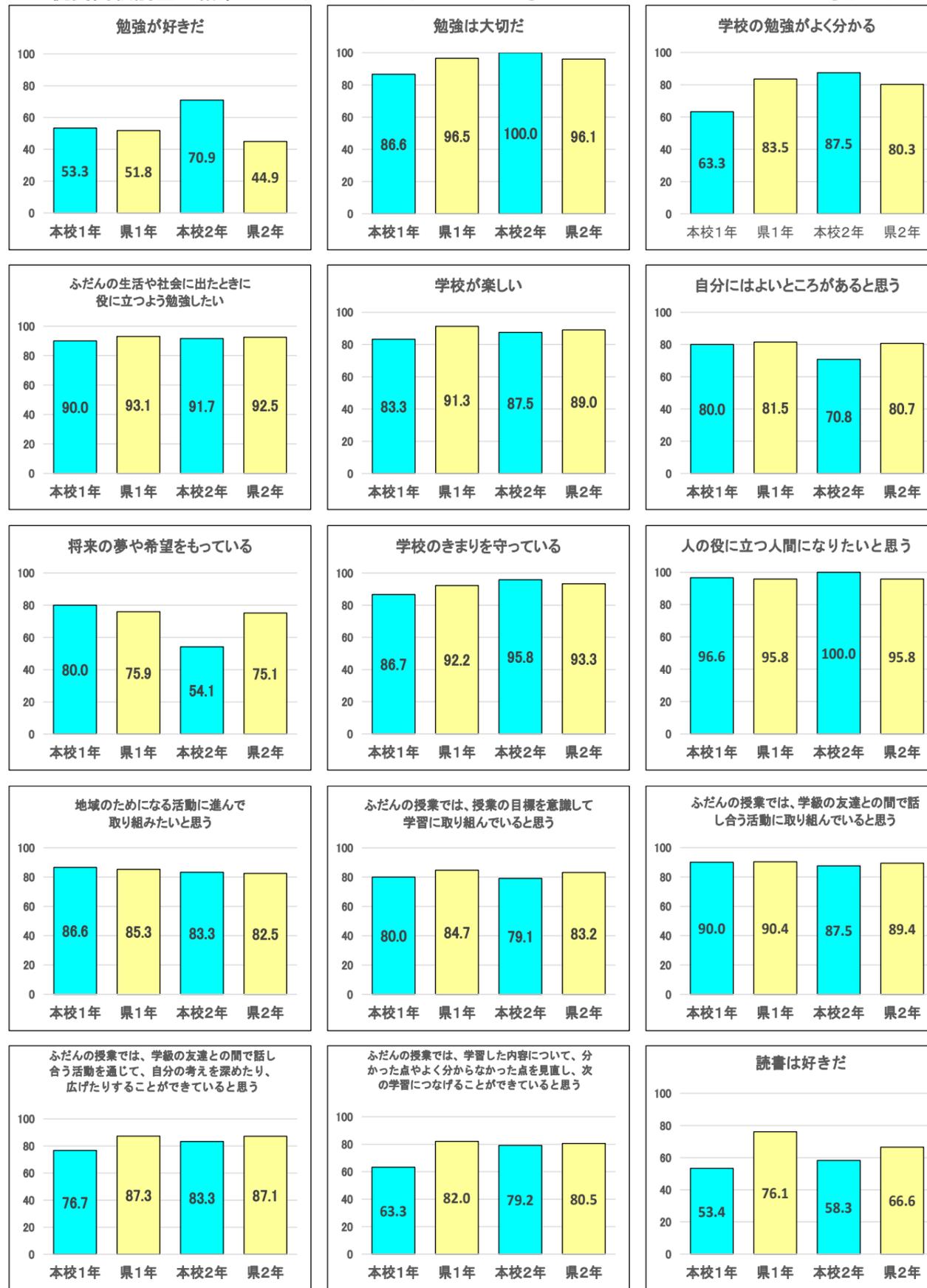
2年生は、昨年度も全教科とも県平均を大きく上回るという好成績を挙げていました。今年度も、昨年度同様、大変良好な結果となりました。特に、国語、社会、理科が大きく伸びています。英語は県平均との差が小さくなっていますが、ほとんどの設問で県平均を上回っています。ただ、「ポスターの内容についての読み取り」「イベントについての会話文の読み取り」という設問が県平均を下回っており、英文を正しく読み取る力を高める必要があります。

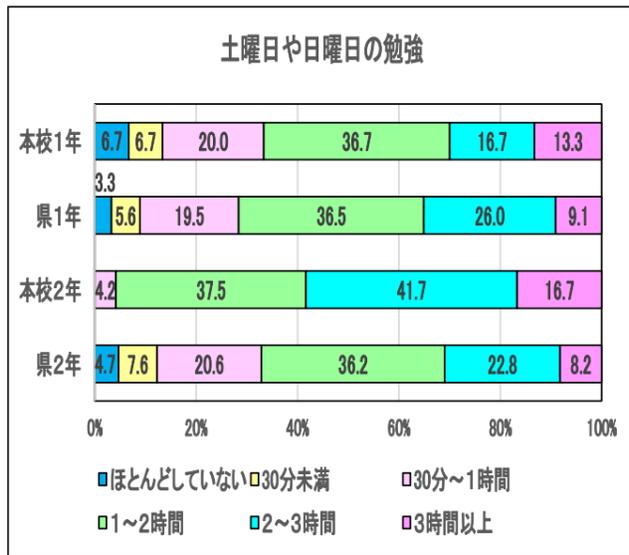
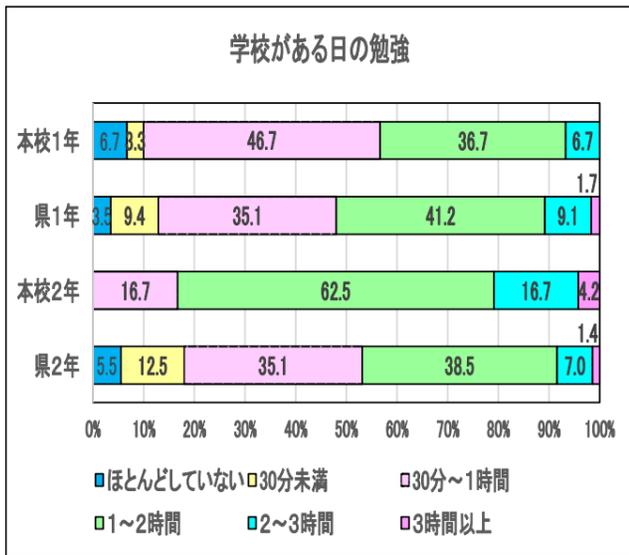
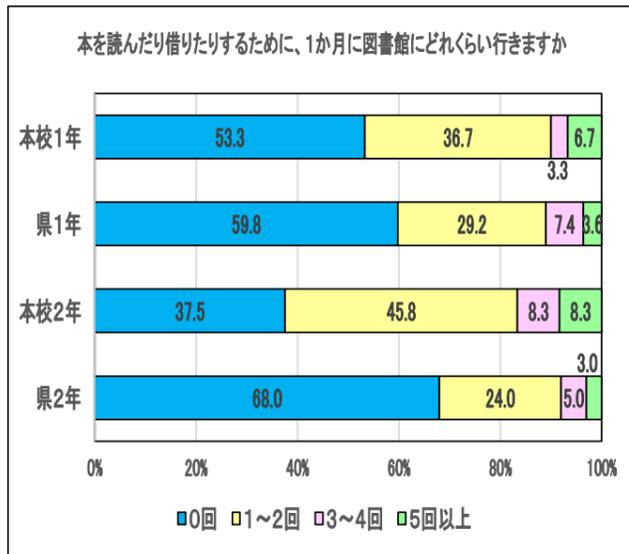
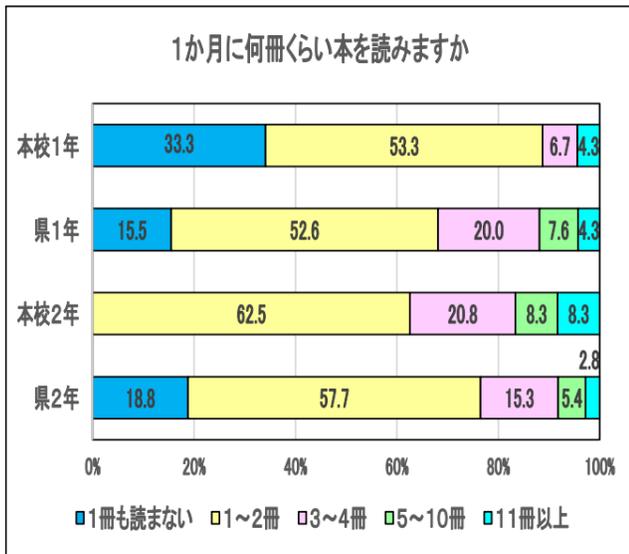
全体として概ね良好な結果となりましたが、今後も電子黒板やタブレットなどのICTを活用して、自分の考えをしっかりとつことや、短時間で互いの考えを共有して話し合い活動の充実を図りたいと思います。さらに、昨年度から取り組んでいる問題解決能力の育成を通して、知識・技能だけでなく、思考力・判断力・表現力等を向上させるなど、生徒の学力向上に努めていきます。



□生徒質問紙調査の結果

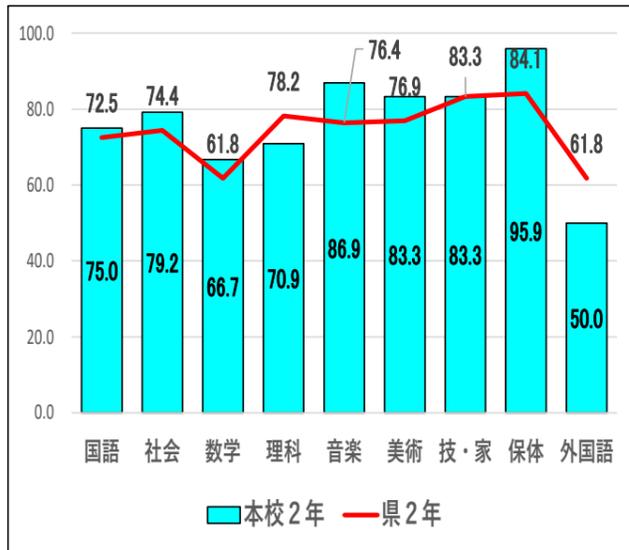
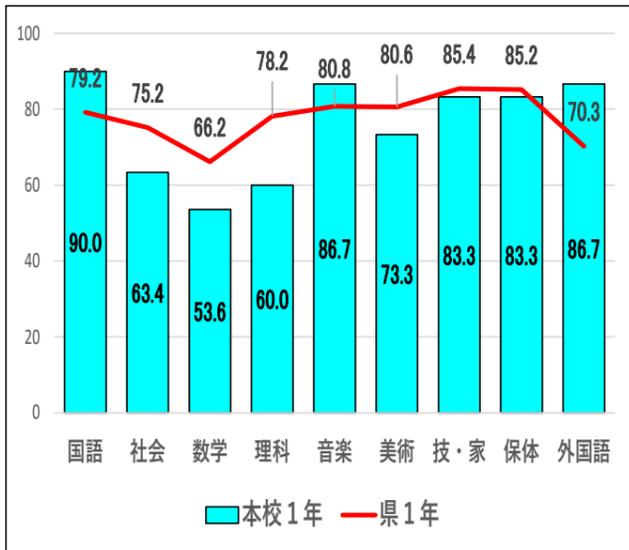
肯定的回答(「当てはまる」+「どちらかといえば当てはまる」)の割合





教科が好きな割合

肯定的回答（「当てはまる」＋「どちらかといえば当てはまる」）の割合



生徒質問紙調査の「勉強が好きだ」から「読書が好きだ」という設問に対する肯定的な回答（「当てはまる」＋「どちらかといえば当てはまる」）の割合は、今年度も県平均とほぼ同じような結果となりました。ここでは、それぞれの設問について学年ごとに考察します。

1年生は、「勉強は大切だ」「学校の勉強がよく分かる」「学校が楽しい」という割合は、県平均より低くなっています。学力検査の結果が県平均を下回っていることと関係がありそうです。学校生活の基本は、学習、授業ですので、授業に前向きに取り組み、学習の成果を実感できれば、「学校が楽しい」という生徒が増えると思います。「ふだんの授業で考えを深めたり広げたりしている」「ふだんの授業で学習内容を見直し、次の学習につなげている」という割合が県平均より10%以上低いことや家庭学習の時間が短いことも影響しているようです。これまで以上に、分かりやすい授業、楽しい授業を展開し、生徒の意欲と学力を高めることができるよう、授業改善に努めていきたいと思っています。なお、「将来の夢や希望をもっている」という割合が県平均より高くなっており、本校が重点的に取り組んできた「キャリア教育」の成果と捉えることができます。ただ、「学校のきまりを守っている」という割合が少し低くなっています。規範意識をもち、落ち着いた生活をする中で、学習にもいい影響を与えられると思いますので、生活指導、生徒指導にも力を入れていく必要があると考えています。

2年生は、「勉強が好きだ」という割合が非常に高く、「勉強は大切だ」「学校の勉強がよく分かる」という割合も県平均より高くなっています。ふだんの授業への取組についての設問でも、ほとんどで県平均より高くなっており、授業に意欲的に取り組んでいることが分かります。学力調査では県平均を大きく上回っているということから、昨年同様、「勉強するのは当たり前のこと」という意識が強く、意欲的に学習に取り組み、学習内容が定着していることが推察されます。しかし、「自分にはよいところがあると思う」（R6：82.6→R7：70.8）、「将来の夢や希望をもっている」（R6：73.9→R7：54.1）という割合が県平均より低く、昨年度よりも10%以上低くなっているのが気になります。自分に自信をもつことができず、将来のことにも不安を抱えているという生徒が多いようです。マイナスな傾向にも見えますが、2年生は共感的な人間関係がしっかり構築されていること、学力が大変高いことから、現状に満足せず常に上を目指して努力していると捉えることもできます。「人の役に立つ人間になりたいと思う」の設問には、全員が肯定的な回答をしていますので、向上心が高いことが分かります。今後も、自己有用感を高めるための活動、将来の生き方を考えるための「地域に根ざしたキャリア教育」を一層充実させていきたいと思っています。

「読書が好きだ」という設問は、1、2年生とも県平均を下回る結果となりました。「本を読んだり借りたりするために、1か月に図書館にどれくらい行きますか」という設問は、県平均より高い傾向が見られ、図書館を利用する生徒が多いと言えます。しかし、「1か月に何冊くらい本を読みますか」という設問では、1年生は3割の生徒が0冊、半数が1~2冊で、県平均より少ないようで、読書量は不足しているようです。2年生は月に1~2冊という生徒が6割、月に3冊以上読んでいるという生徒の割合は37.5%で、県平均よりは本を読むことが多いようです。

「学校がある日の勉強」「土曜日や日曜日の勉強」では、1年生は、毎日の学習が30分未満、土曜日や日曜日でも1時間未満という生徒が1割ほどいるようです。1年生は、学習に取り組む時間時間が少ない傾向にありますので、決まった時間に家庭学習に取り組むなど、望ましい学習習慣をしっかり身に付けられるよう努力してほしいと思います。2年生は長時間勉強している生徒の割合が高く、学力調査の結果が高いこととリンクしています。ただ、「将来の夢や希望をもっている」という生徒の割合が低い結果となっています。4月からは受験生と呼ばれる立場になりますので、自分の将来の生き方をより具体的に考えて目標を設定し、自分の希望実現のための努力を重ねてほしいと思います。

本校では、生徒の学力向上のための授業改善とともに、地域に根ざしたキャリア教育を展開し、生徒のキャリア発達を促すことを重点としています。また、知・徳・体をバランスよく育成するために、生徒指導や健康指導、体力向上の取組、道徳教育など、生徒の状況に合わせた教育活動を推進しています。ご意見、ご質問がありましたら、いつでもお寄せください。今後も、生徒のよりよい成長のために、ご家庭、地域、学校が手を取り合いながら進めていきたいと思っていますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

